

2013 消防フェスタ

と き **11月10日(日)**
9:45~14:00 *雨天中止

ところ **葦山時代劇場**

内 容 スタンプラリー…豪華景品を
ゲットしよう！
体験エリア／消防はしご車・
ポンプ車乗車体験、放水体験、
救命体験、ぬり絵コーナー
消防ものしり王決定戦／豪華
景品が当たるクイズ大会
イベント／園児パフォーマン
ス(葦山保育園・ちとせ保育
園・長岡保育園・田京幼稚園)、
女性消防隊による寸劇、模擬
火災訓練披露、餅投げなど
※駐車場に限りがあります。公共交通
機関をご利用ください。



巨大地震 そのとき、あなたはど

11月は静岡県が定める『地震防災強化月間』です。また、12月の第1日曜日は『地域防災の日』です。

6月に発表された静岡県第4次地震被害想定では、従来の想定東海地震よりも、さらに広域の地震災害が想定されています。

広域災害が発生した場合、救援物資の到着に日数がかかることが予想されます。水や食料を1週間分備えておきましょう。

2
1週間分の
備蓄を

- ・水は1人当たり1日3リットルが目安。
- ・調理せずに食べられる非常食のほか、缶詰やレトルト食品、カップ麺など、日常の食料品もうまく活用し、無理のない備蓄をしましょう。



こうした中、地震防災の原点に回歸し、自然が持つ大きな力を正しく理解し、自らの命を守るための防災対策に、自主的に取り組む必要があります。

12月1日は、市内各地区で地域防災訓練が実施されます。市民全員参加しましょう。

☎ 危機管理課
☎ 055-948-1482



1
わが家を
強固に

地震発生時、家屋や家具による被害に合わないためにも、事前に対策を講じましょう。
※行政による助成制度をお知らせします。



①建物倒壊から命を守るため、耐震診断・耐震補強を行いましょう。
昭和56年5月以前に建てられた木造住宅の場合は、補助制度が利用できます。
☎ 都市計画課 ☎ 055-948-2909

②家具の転倒や散乱から身を守るため、家具の固定を行いましょう。
次のいずれかに該当する場合は、ご自宅の家具を6台まで無料で固定する制度が利用できます。
・65歳以上のみの世帯
・障がいの程度が1級・2級の人のみの世帯、またはその人と同居する世帯
・要支援・要介護者の人のみの世帯、またはその人と同居する世帯
☎ 危機管理課 ☎ 055-948-1482

3
家族の安否
確認方法

災害時には電話がつながりにくくなります。家族の安否確認の方法を決めておきましょう。災害時伝言ダイヤル『171』を活用しましょう。

▶NTT災害用伝言ダイヤル『171』

録音／再生時のダイヤル方法
録音時間／1伝言 30秒以内

◆録音するときは

1 7 1 ... 1 ... 0 x x ... x x x ... x x x x
被災地内のNTTの自宅電話番号
1 7 1 ... 2 ... 0 x x ... x x x ... x x x x

サービスの開始時期

- ◆震度6弱以上の地震の発生
- ◆災害発生等で電話が相当混み合っている時
- ◆警戒宣言後、状況に応じて(毎月1日と15日、1月1日~3日には、24時間体験利用ができます)



●12月1日(日)は地域防災の日 地域防災訓練に全員参加しましょう

午前9時に、訓練地震発生の場合として、同報無線のサイレンを鳴らします。同時刻、静岡県から携帯電話の『緊急速報メール』が試験配信されます。(対応機種のみです。受信可否などは、各携帯電話会社や販売店でご確認ください。)



※当日、近隣市町で独自の緊急速報メールの試験配信を予定しているところがあります。市境付近では、他の市町が発信したメールを受信してしまうことがあります。訓練なのでご注意ください。



大きな地震が 発生したら…

12月1日(日)午前9時の同報無線サイレンに合わせ、右の手順①~③を実践してみましょう。

① 3秒 地震だ!	② 1~2分 揺れがおさまった	③ 3分	④ 5~10分	⑤ 10分~数時間	⑥ ~3日	⑦ 避難生活になったら
●落ち着け! ●身を守れ! ●意識しよう! 火元と脱出口確保	津波や山・崖崩れの危険が予想される地域はすぐに避難 ●火元を確認! ●家族は大丈夫か! ●靴を履く! ●非常持出し品!	●みんな無事か? ●近くに火は? 大声で知らせろ! 消火器を使え! バケツリレーだ! ●余震に注意!	●ラジオをつけろ! デマにまどわされるな! ●市町、自主防の情報を確認! ●電話はなるべく使わない 緊急連絡を優先! 安否確認は伝言ダイヤル[171]を! 避難のときは ・ガス栓を閉める! プレーカーを切れ! ・車で逃げるな! ・ブロック塀の倒壊、自動販売機の転倒、看板やガラスの落下、がれきに注意! ・行先メモを玄関に! ・子供を学校へ迎えに!	●みんなで消火活動! ●みんなで救出活動! 消火・救出が難しいときは消防署等へ連絡! 簡単な手当ては自分で!	●生活必需品は備蓄でまかなえ! 水・食料・ラジオ・ライト・常備薬等 ●市町広報に注意! ●こわれた家に入るな! ●無理はやめよう! ●がまんと助け合い!	3か条 ●自主防を中心に! ●ルールを守れ! ●助け合おう! 災害時要援護者に心づかい